

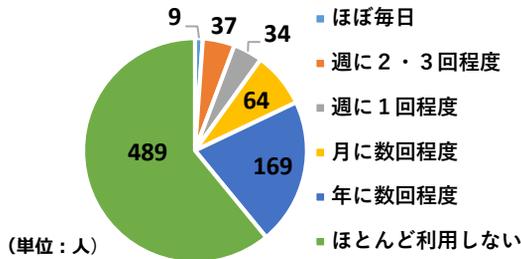
かみちゃん号ニュース No.18

上地区公共交通協議会 令和7年3月

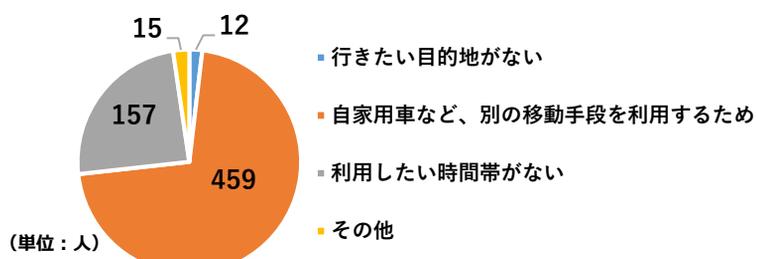
今回のかみちゃん号ニュースでは、地域住民の皆様にご協力いただいた、「かみちゃん号利用状況アンケート調査」の結果をご報告します。（総回答者数：828人／上地区人口の約42%）

▶アンケート結果

▶利用頻度（回答者数：802人）



▶利用しない理由（回答者数：643人）（複数回答可）



▶アンケート結果の集約

- ①日常的な利用者が少ない（アンケート回答者の1割程度のみ）
- ②時間帯による利用者の差が大きい（例：目的地へ向かう際、午前11時以降の利用者は少ない）
- ③利用目的は「通院」、「買い物」が大半を占める（普段利用している方の8割程度）
→上地区には病院やスーパーがないことから、**渋沢駅を目的地とする利用者が大多数**
- ④利用しない理由の大半が、自家用車等を利用するため（普段利用していない方の7割程度）
→利便性の面からすれば、**現在、自家用車を利用している方が、あえてかみちゃん号へ転換することは現実性がない。**
- ⑤免許変更後等の将来に対する不安から、かみちゃん号の存続を求める意見が多い
→**将来に向けて存続するためには収支の改善は必要不可欠**

▶公共交通としてあるべき姿

◎公共交通としての役割

- ・出来るだけまとまって移動するべきもの→**単に便数を増やしていくものではない。**
- ・地域全体で乗り支える認識が重要→**可能な限り、生活を公共交通に合わせていく。**

【コンセプト】

◎交通弱者の日常生活における移動手段の確保

- ・上地区には病院やスーパーがない。
 - ・高齢化が進んでいる。（今後、免許返納者の増加が想定される。）
- 通院や買い物における移動手段の確保が最優先**

このコンセプトをもとに、かみちゃん号存続にむけた新ダイヤ等を検討していきます。

【お問い合わせ先】

- 上地区公共交通協議会（事務局：秦野市交通住宅課） Tel.0463(82)9644(直通)
- 株式会社愛鶴 Tel.0463(83)7777